

浮見堂

この六角形の木造の東屋（あずまや）は奈良公園の鸛池の上に浮かんでいるように見えます。

1916年に創建された浮見堂は、その檜皮葺の屋根のおかげで、日本の伝統建築の一端を示す素晴らしい例となっています。

ここを訪れる人は、一年のうちのどの季節でも、木製の橋を渡って浮見堂の中に入ることができます。この東屋と鸛池は桜の花で有名です。春になれば、夜のライトアップをしていますので、夜桜を堪能することができます。

秋には、奈良公園の色鮮やかなすばらしい紅葉をこの東屋から見るすることができます。また、冬には、春日大社の向こうにそびえる霊山の雪を被った頂が池の水面に映るのを見ることができます。